

## 教育委員会定例会（平成19年4月）会議録

1. 日 時	平成19年4月3日（火） 15:00 ～ 15:40
2. 場 所	新居浜市市民文化センター別館4階大会議室
3. 出席者	委員長 太田 恵理子 委員 栗田 敬子 小野 正師 宇野 征一 教育長 阿部 義澄 事務局長 池内 貞二 総括次長 日野 清 次長 真鍋 智明 次長兼館長 前垣 芳郎 課長 高橋 康文 岩崎 幸夫 近藤 清治
4. 教育長の 一般報告	(1) 3月分行事報告及び4月分行事予定について
5. 記録者氏名	社会教育課 日野 里美
6. 会議の概要	<報 告> 教育長の一般報告について  <その他> (1) 平成18年度不登校に関する参考資料及びいじめに関する調査について (2) 学校訪問について (3) 移動図書館車更新記念講演会記録集「子ども達に本の楽しさを」について

<p>太田委員長</p>	<p>それでは定刻が参りましたので、平成19年第4回新居浜市教育委員会定例会を開催致します。</p> <p>開会の前に、3月10日の未明に新居浜市内の女子中学生が自ら命を絶つという悲しい事件がありました。私には、本気で子どもと向き合って欲しいという叫びのように感じられました。その女子生徒の死を無駄にしない為に、今後何ができるか、教育長さんと相談したいと思っております。それでは、子どもさんのご冥福をお祈りして、黙祷を捧げたいと思います。ご起立お願い致します。</p> <p>黙祷・・・</p> <p>お直りください。ありがとうございました。</p> <p>それでは定例会に入ります。本日の会議録署名委員は、宇野委員さん、栗田委員さんをお願い致します。会期は本日限りと致します。平成19年3月の定例会会議録のご署名は小野委員さんと宇野委員さんの署名を頂いております。それでは教育長さんから一般報告をお願い致します。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。</p> <p>3月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>12日 角野小学校の卒業を迎えた6年生から、市長・教育長との交流会を依頼され、参加いたしました。教育長として小・中学生に望むこと、今の教育についての感想、いじめ問題についての思い等について質問され、答えました。</p> <p>臨時校長会を開催し、平成19年度の教育委員会取組方針「21世紀に生きる子どもたち」の説明を行い、新年度の教育計画の中での具現化を依頼しました。</p> <p>13日～15日までの期間 3月議会の本会議・代表質問や一般質問が行われました。今議会では、7名の議員さんから質問を受けました。主な質問といたしまして、市民の学習活動の拡充、児童・生徒の健全育成活動について、スポーツ拠点づくり推進事業について、給食費の未納について、幼稚園の入園料問題について、学校給食と地産地消の取り組みについて、教育課程等の教育問題について、塾要らずの教育の実現について等の質問がありました。</p> <p>16日 市内中学校での卒業式が厳粛な雰囲気のもとに、心あふれる内容で儀式が執り行なわれました。市内全体で、1,150名が卒業していきました。</p> <p>この日、福祉教育委員会が開催されました。</p> <p>ボーイスカウト新居浜第2団の仲村元氣さん外2名がボーイスカウト世界スカウトジャンボリー参加(イギリス・7/27から～8/8まで)及び「平成18年度富士章」の受章について、市長への報告にられました。今後ますます、この3名の高校生たちが、後進の指導</p>

	<p>とリーダーとして活躍することを期待しております。</p> <p>17日 第23期新居浜市体育指導委員協議会総会が開催され、平成18年度の事業報告・決算報告並びに平成19年度事業計画の審議や予算案の審議が行われました。</p> <p>18日 第9回多々良杯空手道競技大会が開催されました。県内外の小学生から一般までの男女の空手の愛好家が参加し、熱戦が繰り広げられておりました。</p> <p>19日 愛媛県立今治養護学校新居浜分校の平成18年度卒業証書授与式が執り行われ、小学部6年生1名が卒業しました。</p> <p>新居浜工業高等専門学校でGP地域連携プロジェクト型ものづくり活動の成果発表交流会が多くの参加者を得て開催されました。発表者として、泉川小学校教諭合田信久先生、中萩中学校教諭村上和夫先生の日ごろの授業の工夫点について発表されました。</p> <p>20日 新居浜工業高等専門学校の第41回卒業式・第14回専攻科修了式が文化センターで執り行われ、158名が卒業、30名が修了いたしました。信頼される社会人、信用される技術人としてさらに成長を期待したいと思います。</p> <p>新居浜市安全・安心のまちづくり協議会が開催され、部会の報告や意見交換が行われました。</p> <p>平成18年度一課一改善運動表彰式があり、教育委員会から提案をしていた、「データベースソフトを使用した公民館日誌の作成及び各種集計」社会教育課河端係長の提案が優秀賞「省力化部門」に選ばれました。</p> <p>22日 市内小学校での卒業式が温かい在校生のことばの中で執り行われました。市全体では、1,185名が小学校課程を終えました。</p> <p>23日 公立小・中学校で修了式が行われ、子どもたちは次年度の進級への思いを春休み中に培ってほしいものです。また、本会議が開催され、各委員会の委員長報告等がおこなわれました。</p> <p>24日 平成18年度文化財めぐりが、公募による市民15名の参加を得て行われました。久貢山のソテツをはじめとする市内の天然記念物を訪ね、文化財保護委員の濱田直氏による解説により、市民の文化財に対する理解を深めることができました。</p> <p>30日 平成19年度人事異動等に伴う辞令交付式があり、長年お世話になりました2名の方々がご退職をされることになりました。大変ご苦勞様でした。</p> <p>4月2日 平成19年度が開始されました。平成19年度人事異動に伴う辞令交付式が執り行われ、新たな陣容で教育委員会事務局が発発することになりました。</p> <p>その他 4月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p>
--	--

	<p>5日 新規採用教員着任式  6日 学校予算配分説明会  9日 小学校入学式、小・中学校第1学期始業式  10日 中学校入学式、公立幼稚園入園式  15日 第40回にはま春の市民文化祭が27日まで開催  17日 教育功労者表彰式  18日 第1回小中学校長研修会、午後、教科・教科外主任会  24日 全国学力・学習状況調査  29日～30日 市長旗争奪中学校選手権大会  以上で、一般報告を終わります。</p>
太田委員長	<p>ありがとうございます。ただ今の教育長さんの一般報告についてご質問ございませんか。</p> <p>無ければ、小学校・中学校の卒業式に皆さんご出席なさったと思いますが、心に残ることがございましたら、一言ずつお願い致します。栗田委員さんからお願いします。</p>
栗田委員	<p>私は、南中学校と垣生小学校へ行かせて頂きました。去年とは違う中学校でしたので、また違った印象でした。中学生は感極まって涙の卒業式で、厳かな式典でした。</p> <p>垣生小学校は初めて行かせて頂きました。今まで見てきた小学校の卒業式は対面式でしたので、久しぶりに違う形の卒業式を見て、少し古いかないと思いましたが、地域性を活かした様な卒業式で、こちらも厳かな感じを受けました。以上です。</p>
小野委員	<p>私は、金栄小学校に初めて参加させて頂きました。まず、来賓の方がたくさん居られて、地域の皆さんが大変熱心に学校を支えておられるなというのを強く感じました。金栄小学校は対面式で、子どもさんが卒業証書を授与された後に、お一人お一人が、自分の思いや抱負を一言ずつ大きな声で発表されていたのが非常に印象的で素晴らしいなと思いました。私がお祝いの言葉を述べさせて頂く時に、子どもたち全員が顔を上げてこちらを向いて真剣に聞いて頂いたのも大変印象に残っております。大変素晴らしい卒業式だと感じました。以上です。</p>
宇野委員	<p>私は、船木中学校と宮西小学校に行かせて頂きました。船木中学校は、学級担任の先生は一年間ずいぶん苦勞されただろうなという雰囲気少し感じられましたが、最後になって退場の前に、先生の方に向かって、先生に対する感謝の気持ちや思い出を語る場面があったのですが、小学校の卒業式とは違って感極まるものがあった、真面目にした者、ちょっと迷惑をかけた者、全部ひっくるめて思い出に残る卒業</p>

<p>太田委員長</p>	<p>式だったなと思いました。</p> <p>宮西小学校は、対面式というのは初めてだったのですが、子どもたちがものすごく緊張していて、入場と退場する時に、右手と右足が同時に出る子が何人もいました。それだけ一生懸命で、緊張する場면을体験させるというのは、大きな教育だなと感じました。</p> <p>教育長さん。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>はい。私は中萩小学校へ行かせて頂きました。市内の小学校の中で一番生徒数が多いのではないかと思います。5年生と6年生の参加でした。三原校長さんが習字されるのですが、会場の体育館の壁全面に、校長さんから贈る言葉を大きな筆で書かれておりました。校長の式辞のなかで、その言葉について説明していました。普段から校長さんが、子どもたちにその様にされていたのではないかなと思いました。思いをどういう風にして繋げていくかということで、中萩小学校生は、大変良かったのではないかなと思いました。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>私は、西中学校と大生院小学校に行かせて頂いたのですが、西中学校は去年も見せて頂きました。校歌も「揚げば尊し」も、「蛍の光」も全部合唱で、とても綺麗なハーモニーでした。日々練習を重ねておられるのだなという歌声で、送る側も、送られる側も、涙を流す生徒さんがたくさんおいでで、感動的な卒業式だったと思います。</p> <p>大生院小学校は、今年から対面式の卒業式になったと聞きました。5年生と6年生が向かい合う形で座っていて、贈る言葉をそれぞれリレー形式で繋げていくのですが、どちらの生徒さんも緊張されているながらも、上手に言い遂げることが出来ていました。それを見ている校長先生が、普段はあまり感情を表に出さない先生かとお見受けしていたのですが、一番涙を流して感動されていて、その姿にこの一年、温かく見られていたのだなと感じました。</p> <p>それでは、その他の議案にまいります。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>お手元の「平成18年度 不登校に関する参考資料」について、ご説明いたします。不登校を教育委員会の最重要課題としてきております。</p> <p>今年、30日以上欠席した子どもは116名です。昨年より11名減少しております。やはり、教育委員会や各学校での取り組みにより少しずつ効果が現れてきているのではないかなと思います。昨年の初めに青木指導主幹さんと、できたら2桁にしたいと話をしていましたが、2桁にならなかったのは残念です。その4番目の学年別の所を見て頂きたいのですが、昨年平成17年の中学1年生の29名が30日以上欠席したのですが、2年生になって40名となっています。そして2</p>

	<p>年生37名が3年生になって40名となっています。今回は、2年生に不登校傾向を示す子どもが多いなと思います。今年は、先にお渡しした不登校生徒に直接聞いたアンケートでの取組方針をまとめておりますので、校長会で各学校において活用して頂きたいということを伝えております。来年度はさらに減少するように取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>次のプリントを見て頂けたらと思うのですが、無気力、遊び型というのが非常に多いと思います。複合というのは、無気力と遊び型等の混合です。今後の取組で、子どもたちとの関わりの中で担任の先生にお願いしていきたいと思っております。</p> <p>不登校生のパーセンテージが高い学校は、スクールカウンセラー、またハートなんでも相談員さん等を配置し、西中学校・別子中学校以外には中一ギャップの教師も配置し、新たな取り組みをしていきたいと思っております。</p> <p>次に、いじめに関する調査3月分ですが、小学校・中学校とも、いじめの件数は報告されておりません。いじめの解消状況につきまして、昨年の4月からの累積件数で調査したところ、小学校・中学校のいじめはすべて解消しているということです。そして、いじめは、小・中学校あわせて218件報告されております。以上です。</p>
太田委員長	<p>はい、ただ今の報告について質問がある委員さんはいませんか。小野委員さん。</p>
小野委員	<p>はい、2枚目の資料ですが、40名の中学生が不登校のままご卒業をされたということですが、不登校の子どもたちが卒業後、進学をされたのか、どういう状況なのか、もし分かれば教えて頂けたらと思います。</p> <p>それともう一点、不登校の理由に“複合”がたくさんありますが、今言われた“遊び”とか、“無気力”とかいくつもの理由が重なっていると思うのですが、その他にも“意図的”、“その他”という理由が書かれておりますが、できたら一度“複合”の内容がどういう風になっているのか、学校のご判断にもよるとは思いますが、もう少し内容が分かれば教えて頂きたいと思っております。以上です。</p>
太田委員長	<p>不登校のまま卒業された生徒さんたちのその後の様子などは、わかるのでしょうか。</p>
真鍋次長	<p>資料は持っていないのですが、私立高校で不登校生を扱うという所もありますので、そちらに行く方もおられますが、金銭的な問題で行けない子どももいます。定時制や通信制で続けてやっという</p>

	<p>形で、私の知っている範囲では、何らかの形で進んでいきたいという気持ちを持った子どもたちが多かったです。ただ、全ての学校を集計した訳ではありませんが。</p>
太田委員長	<p>進路状況等の集計などは、実施されていないのでしょうか。</p>
真鍋次長	<p>はい、これから昨年度の進路状況を調査したいと思います。</p>
小野委員	<p>例えば、不登校からそのまま家庭の中に引きこもりになったりしますと、義務教育の間は、先生方がフォローをしていると思いますが、義務教育が終わると家庭任せになり、現実的にはなかなか解決できないことあるかと思います。</p>
太田委員長	<p>詳しい集計が出ましたらお願いします。</p>
阿部教育長	<p>今、真鍋次長からありましたように、新居浜市内の定時制高校へ進学を希望している子どもがおりまして、明日・明後日と県立の定時制を受験する子どももいます。今、その様な形で不登校の子たちが動いている時なので、5月の定例会ではご報告できると思います。</p>
太田委員長	<p>はい、お願い致します。その他質問・ご意見ありますでしょうか。栗田委員さん。</p>
栗田委員	<p>この不登校の資料の2ページのところですけども、1年生での人数が多いところで中萩・大生院・角野中学校は、小学校から中学校へそのまま持ち上がりという学校ですよ。泉川・船木中もそうですが。固定してしまっている何かが存在するのかなという印象を受けました。あと東・西・南・北・川東中学校は、いろいろな小学校からあがってくる子どもさんが多いので、そちらでは2年・3年が多いという形になるのかと思います。小学校6年生からの何か、中学校1年生に影響しているのかと思います。</p> <p>中一ギャップというのは、いろんな学校から集まってくる子どもさんのことを考えてというのがあったのですが、持ち上がりの学校の方が多くなると、今度は部活や中学校の授業等に関して問題が多いから、ここまで出てきているのかなとも考えられます。また今後5月・6月で聞かせて頂けたらと思います。</p>
太田委員長	<p>不登校検討委員会の時に、地域性や学校の持ち上がりであるとか、集まってくる学校であるとか、そういう種別によって影響があるのか、それとも全く別の問題で増えているのか、現場の先生方のご判断だと</p>

<p>宇野委員</p>	<p>どの様なものなのか、分かる範囲で知りたいと思うので、よろしくお願い致します。その他よろしいでしょうか。宇野委員さん。</p> <p>不登校の資料1枚目の4番目のところの平成17年と18年の比較してみると、今年、卒業した3年生、いわゆる平成18年の3年生40名、という事は前年度には2年生の37名ですよね。ですから、去年不登校だった子が、今年はそれほど増えてないという捉え方もできます。</p> <p>それに対して、平成17年の1年生が29名で、平成18年度では40名に増えています。何が原因なのかわかりませんが、さっきの2年生から3年生になる数が、それ程増えてないという事から考えると、やはり頑張ったら何とかなるのではないかという感じがします。</p> <p>今年は、卒業した3年生がよく頑張ってくれたと思うのですが、来年は厳しいぞという意識を持ってご指導して頂きたいと思います。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。その他報告事項はございませんか。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>はい、3月の定例教育委員会で学校訪問についての話があったと思うのですが、現在は西条教育事務所と次長との学校訪問の時に、教育委員会合同としていたのですが、学校訪問について教育委員さんたちとして、どの様なお考えがあるのか、計画していく上においてお伺いしたいと思います。</p>
<p>太田委員長</p>	<p>それぞれご意見があると思いますが、まず私からよろしいですか。私は、教育事務所の先生方と一緒に訪問する学校訪問でも、普段見られない学校の様子を見ることができ、雰囲気はわかりますが、お膳立てされた普段着ではない姿だなと感じます。家庭訪問で言えば、応接間で帰っていくという感じですが、そうではなく、本当に問題があり苦勞されている先生がおいでだと思いますので、苦勞されている先生のクラスに行ってみたいですし、普段着の様子を見てみたいので、もう少し学校側も構えずに迎えられるような方法をとれたらなと思います。栗田委員さんはいかがでしょう。</p>
<p>栗田委員</p>	<p>私は2月に違う形で市内の学校全部を回らせて頂く機会があり、「あれ？」という印象を受けました。先程の合同訪問の時とは違う、学校・先生方の印象でした。という事は普段の先生を見る必要性が、教育委員としてあるのではないかなと感じました。</p> <p>各学校にはご迷惑をおかけするとは思いますが、普段のままの姿を見せて頂くという事を、念を押して頂き、違った形で学校訪問をさせて頂きたいと思います。</p>



太田委員長	<p>今まで1回だったのを2回となるとちょっとしんどいと思われる学校も出てくると思いますので、学校の理解を得た上で訪問できればと思います。以上です。</p>
小野委員	<p>小野委員さん。</p> <p>はい、今3年間で全校を回っておりますよね。例えば、中学校の中で特に不登校の率の高い学校は毎年必ず学校訪問をさせて頂くとか、新任の校長先生が来られた学校を優先的に学校訪問させて頂き校長先生の学校経営についてご意見を聞かせて頂く等できればと思います。3年ないし4年で全校は訪問すべきだとは思いますが、我々の希望を聞いて頂けるようでしたら、数校を毎年続けて訪問するという事をご検討頂けたらと思います。</p>
宇野委員	<p>不登校であるとか、いじめであるとか、生徒指導で苦勞されているとか、いろいろな学校があると思いますし、うまくいっている学校もあると思いますが、教育事務所と次長と一緒にいった際、ものすごく構えているという感じがするので、化粧をしてない素顔を見たいし、意識しない泣き言も聞いてみたいと思います。こういう事で困っているとか、こういう事でしんどいかいろんな事を聞いて、それをヒントにして我々も考えられたらいいなと思います。以上です。</p>
太田委員長	<p>教育長さん。</p>
阿部教育長	<p>はい、今4名の教育委員さんの要望がありましたので、事務局の方でもどういう風な学校訪問が良いのか考えて頂きたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
太田委員長	<p>前垣館長さん</p>
前垣図書館長	<p>お手元に配布しておりますのが、昨年11月12日の日曜日に図書館多目的ホールにて、移動図書館車更新記念講演会並びに市制70周年記念プレ事業といたしまして、「子どもたちに本の楽しさ」という事で、講演をして頂き、その記録集を作成しました。お忙しいと思いますが、お目通し頂きたいと思います。</p> <p>市立図書館がこの講演会を企画するにあたりまして、公共図書館と学校図書館の連携をテーマに、大阪府豊中市から二人の講師を招聘した記録でございます。</p> <p>第1部は、読書の楽しさを広めるために、文庫と市民団体、公共図書館や学校図書館等の連携について、豊中市子ども文庫連絡会の安達</p>

	<p>先生をお招きした講演会でした。</p> <p>第2部は、司書教諭の立場から、学校司書との連携を通じた素晴らしい学校図書館教育の実践について、同じく豊中市の市立野田小学校司書教諭の福本先生をお招きした講演会でした。</p> <p>非常に熱のこもったお二方の講演会でしたので、参加された方はもちろんですが、当日参加できなかった方にも是非読んで頂きたいという事でこの記録集を作りました。</p> <p>第3部については、当日お配りした、先生たちの作られたレジュメを添付しております。40ページは、講演会の参加状況で、小学校の図書館関係者の方が9人、中学校の図書館関係者の方が2人、読み聞かせ関係者が13人、その他市議会議員が1人、全部で46名の参加者でした。そういうことで、慌ててまとめましたので誤字・脱字等があるかもしれませんが、よろしくお願い致します。</p> <p>ありがとうございました。ご質問等よろしいですか。その他、連絡事項はございませんか。</p> <p>無いようですので次回の定例会の日程を決めたいと思いますが、5月は連休をはさみますので、5月10日（木）16時からにいたします。</p> <p>場所は後ほど連絡させていただきます。</p> <p>それでは定例会を閉会致します。ご協力ありがとうございました。</p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>
太田委員長	
池内事務局長	
太田委員長	

--	--